

【1月の休館日】
 ~4日(土) 7日(火) 14日(火)
 21日(火) 28日(火)
 1/5(日)の開館時間のみ10:30~17:00
 毎月1日・毎週火曜日は休館です。

ふくちのち便利

開館時間 10:00-18:00 / 福智町赤池 970-2 / ☎ 28-2855



ふくちのちイベント

- ◆ぶらんこのおはなし会
1/11(土) 11:00-11:30
- ◆上映会 大人向け
「猫忍 劇場版」
1/11(土) 14:30-16:10
- ◆子どもの折り紙教室
1/12(日) 11:00-11:30
※先着16人/当日10時~受付開始
- ◆第35回 MOA 美術館
田川児童作品展 in ふくち
1/15(水)~1/20(月)16時まで
- ◆いきいきサロン作品展
1/17(金)~1/29(水)
- ◆大人の折り紙教室
1/17(金) 10:10-11:45
- ◆スタッフのおはなし会
1/19・26(日) 11:00-11:30
- ◆上映会 子ども向け
「シルバニアファミリー
フレアのハッピーダイアリー 1」
1/25(土) 14:30-15:10

中から箱が現れる！ 入れ子箱づくり

入れ子箱とは、マトリョーシカや重箱のように、箱の中に小さな箱を重ねて入れられる箱です。レーザーカッターで切った材料を組み立て、やすりで角を取り、好きな色を塗って自分だけの箱を作りましょう。

日時▶ 1月18日(土)
14:30~16:00
場所▶ 1階 ものづくりラボ
定員▶ 先着12人 / 要申込
※小2以下は保護者同伴
費用▶ 1セット(2個)400円

花は3種類の中から選択可能 毛糸の花づくり

開いた穴に毛糸を通して枯れないお花を作ります。お世話になった方へプレゼントしてみませんか。

日時▶ 1月26日(日)
① 10:30~11:00
② 11:15~11:45
場所▶ 1階 ものづくりラボ
定員▶ 各回先着12人 / 要申込
※小2以下は保護者同伴
費用▶ 1個100円(1人3個まで)

たくさん本を読んで応募しよう！

2024-2025「冬の読書マラソン大会」

12月4日(水)から1月27日(日)までに設定された冊数を借りて読んで返却をした人に、抽選でふくちのちならではの景品をプレゼント。読書を楽しんで素敵な景品も手に入れられるチャンスです！奮ってご参加ください。

翌月のイベントを少しだけ紹介！

来月のふくちのちは…!?

- 大人向け上映会「ライオン 25年目のただいま」を予定しています。

※内容は変更になる場合があります。

新着本

哲学を知ったら
生きやすくなった
さわぐちけいすけ/マンガ(日経 BP)
 動画でわかる！誰でも
カンタン楽ちん着付け
高橋和江 / 著(河出書房新社)

70歳をすぎたら、もっと自分
らしく食べて豊かに暮らす
(ナツメ社)
 現代アートがよくわからない
ので楽しみ方を教えてください
鈴木博文 / 著(日本実業出版社)

こそあどの森の
ひみつの場所
岡田淳 / 作(理論社)
 メロンパンナと
こおりのじょう
やなせたかし / 原作(フレーベル館)

秘密文庫
日本児童文芸家協会 / 編(新星出版社)
 へびのニョロリンさん
富安陽子 / ぶん(童心社)

福智の風

▶新年あけましておめでと
うございます！最大9連休
となった今回の年末年始、
皆さまはいかがお過ごし
だったでしょうか？私はと
いうと、夢のマイホームに
引っ越しした後の荷ほどき
などで、てんてこ舞いの
9連休でした。先月号の
「福智の風」でお話した
2025年の私のテーマ「1つ
ひとつの事に対して丁寧に
向き合う」…早速雲行きが
怪しいようです(笑)皆さま
の今年の目標は何でしょう
か？目標が達成でき、幸多
き一年になりますようお祈
りしております！私も情報
発信という方法で、皆さま
の生活に少しでもお役立ち
できるよう、今年のテーマ
を念頭に入れて頑張ります！
今年も(人事異動があれば
4月号まで笑)どうぞ
よろしくお願いします！(仮屋)

ふくちひと
福智 2025.1
Vol.22

●福智町で活躍する「仕事人」を紹介！

そば屋こだるま
山岡良 さん



蕎麦職人歴17年の山岡さんが、
福智山麓の古民家を改修して昨年
12月に「そば屋こだるま」を開店しま
した。「オープンできたのは地域のか
たや町の支えがあったから」と感謝
を口にした山岡さん。「恩返しできる
よう、食を通じて上野焼
や町の魅力をPRしてい
きたい」と力を込めました。



四季の歌

心映の投句
俳句・短歌教室の詠歌紹介

※原稿どおりに掲載しています。

落の臺句会

互選

青天に透けたる孤影大守柿	大井 良治
夢心地この軽ろさこそ羽根蒲団	落合 東太
せせらぎに留まる紅葉の色模様	香月 眸
身一つで越ゆ老の坂冬の風	藤井耿之介
木枯らしをポント丸める帽の中	山本ひろし
日向ぼこ福耳遠くなりし友	高津 澄子

はな俳句会

建部三由紀選

木の実落つ音楽しんでる大地	馬郡 京子
銀杏の実青き空よりばらばらと	山本ヨシ子
夜や長し猫を相手に手酌酒	豊田 保
木枯に星の光のぴりぴりと	藤本 鈴子
子を背負い散歩の道や冬ぬくし	山田 花子
特等席猫に盗られて日向ぼこ	選者 吟

鬼杉赤池俳句教室

建部三由紀選

大漁の歓喜に燃ゆる浜焚火	二宮 正人
荒城に硬き光の冬の月	西田 真美
愛犬も味方に加へ雪合戦	岩井 童子
終わり無き紛争の地や冬ざるる	高二西田 咲笑
廃れゆく日本の文化年賀状	安川 吉成
留守寺を鴉に頼み山眠る	桂 啓子
厚着して散歩の足も定まらず	清原サヨ子
スマホより我が身充電日向ぼこ	安永より子
巻頭の俳誌と小春届きをり	選者 吟